

# 令和6年度川口市部活動地域移行推進協議会 最終報告【概要版】

令和7年 3月31日



川口市部活動地域移行推進協議会

背景

- ◇学校部活動を通じて、生涯にわたってスポーツや文化に親しむ能力・態度の育成、共通の目標に向かって努力する過程を通して顧問と生徒、生徒同士の信頼関係の深まり、学校全体の活性化や技能向上、発展に重要な役割を果たしてきた。
- ◇平成30年にスポーツ庁及び文化庁が部活動の在り方に関する総合的なガイドラインを策定して以降、学校における働き方改革などの観点を含め、部活動を学校単位から地域単位の取組とすべきとの見解が示された。
- ◇令和2年、スポーツ庁及び文化庁は、令和5年度以降、休日の部活動の段階的な地域移行を図ることを示し、令和4年6月及び8月には、具体的な方策について、スポーツ庁及び文化庁に設置した部活動の地域移行に関する検討会議から提言が示された。

本市の課題

- 地域クラブ活動を統括する組織の必要性
- 「平日」と「休日」の活動等のすみ分け
- 運動系と文化芸術系の部活動が抱える課題の格差
- 学校施設・設備の使用の条件整理
- 大会・コンクール等の在り方 ●広報・周知
- 経済的に困窮する家庭への支援

## ～川口市の理念・基本方針（案）～

★理念★

### 「地域の子どもたちは、学校を含めた地域で育てる」

～川口の子どもたちが多様なスポーツ・文化芸術活動に親しむことができる、  
川口のポテンシャルを生かした持続可能な地域クラブ活動へ～

★基本方針★

- ＜方針1＞既存の地域クラブや少年団等の「数のポテンシャル」を生かした活動を推進する
- ＜方針2＞子供が、生涯にわたってスポーツや文化芸術活動に親しむことができる環境を整備する
- ＜方針3＞地域クラブ活動の情報を広く市民に周知する
- ＜方針4＞子供・保護者・教職員等、それぞれの思いを反映させた地域クラブ活動とする

★移行スケジュール★

- ・休日の地域クラブ活動への移行時期 令和9年9月（2027年9月）
- ・平日の地域クラブ活動への移行も視野に取組を進めていく。

国・県の動向  
(国)  
・令和5年度から令和7年度までの3年間を「改革推進期間」  
「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」中間とりまとめ 令和6年12月より  
・休日については、次期改革期間内（令和8～13年度）、原則、全ての学校部活動において地域展開を目指す。  
・令和8年度から13年度を「改革実行期間」  
・前期：令和8～10年度⇒中間報告⇒後期：令和11～13年度  
(県)  
・「埼玉県地域クラブ活動推進計画」令和6年3月

## 今後の移行スケジュールや実態調査の結果等についてはこちら



## 川口市の主な取組～R 6～

### ○本市の方向性についての協議

- ・理念、基本方針（案）の確定に向けた話し合い
- ・8回の川口市部活動地域移行推進協議会の開催

### ○部活動地域移行に対する実態調査（アンケート）の実施 (令和6年10月1日～令和6年11月15日)

生徒アンケート結果より

- ・地域クラブ活動に通うとしたら、どのくらいの時間かけて通うか。  
15分以内 47% 30分以内 41%

保護者アンケート結果より

- ・部活動が平日のみとなった場合、休日の地域クラブ活動に参加させたいか。79%

### ○モデル事業の実施（令和7年1月～令和7年3月）

＜実施団体・分野＞

- ・川口ガールズ（女子軟式野球）
- ・FCアルコイリス（サッカー）
- ・スポーツ・サンクチュアリ・川口（ニュースポーツ）
- ・川口アスリートクラブ（陸上競技）
- ・新郷コミュニティオーケストラ（オーケストラ）

## 今後の取組

☆市としての部活動地域移行の基本方針の策定

☆モデル事業の拡大と継続実施

☆諸課題（大会・コンクール等の在り方、統括組織の設置、活動場所の確保や条件整理、費用負担の在り方など）に対する協議の継続と促進